

35 マキトラノオガニ

(ケブカガニ科)

兵庫県ランク:B

Pilumnopus makianus

環境省ランク:指定なし

種の概要

和歌山県から沖縄県までに分布する。甲幅30mm。河口域や干潟に生息する。カキ礁やカキ群集の隙間に好んで棲む。同じような場所で見られることの多いシワオウギガニと比較すると、マキトラノオガニは甲面や歩脚に軟毛が粗生することで見分けられる。また近年大阪湾などで確認されている外来種ミナトオウギガニとも良く似るが、ミナトオウギガニはハサミ脚の先端が白いのに対し、マキトラノオガニでは先端が茶褐色もしくは黒褐色であることで見分けられる。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○		○	△

県内分布

高砂市、たつの市、赤穂市、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

AからBに変更。播磨地域の数箇所及び淡路市で記録があるのみ。2003年版と比較すると記録地点数は若干増加したが、個体数は少ない。

保護上の留意点

県内における本種の生息域はマガキの群落に依存していることから、安定的なカキの群落が個体群維持に不可欠である。河川改修や水質汚染などの人的攪乱と、それに伴うカキ群落の減少が脅威となりうる。



写真提供：西宮市貝類館



※撮影個体は県外産

写真提供：西宮市貝類館



※撮影個体は県外産

【執筆者】 渡部哲也